

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野 2-2-22
☎042-724-2171
2期連続トップ当選

他自治体の議会改革の取り組み①

3自治体の議会改革の取り組みを視察しました。3カ所全部で議員自身による説明があったのが特徴でした。町田市議会では議員自身が説明する方法を制度化していませんが、検討に値する課題だと思いました。

なお、先に所沢市議会と会津若松市議会の視察を記させていただきます。議会報告会と言うものが取り組まれています。年数がたつことで徐々に関心が薄れていることが資料で示されました。他方で、そうしたルールとは別に、「みみ丸カフェ」(広報広聴委員)が人気の高い取り組みになっているとのことでした。そこでは、無作為に世代で若い層に絞り込んだ人に案内を送り、40名が対応してくる成果を得ていました。これは議員が話をするのではなく、参加者の話を聞き、それをまとめる立場で参加する、ファシリテーター役としてかかわるものでした。先の議会報告会も一度、このワールドカフェ方式で行ったと言い、今後もその方式の開催が見込まれる可能性があるようでした。

一方の会津若松市議会は全国でもトップクラスの議会運営が行われているといわれています。ここの視察でも説明は議長をはじめとする現職議員でした。その話の中に、議会制度検討委員会が設置され、そのメンバーには議員のほかに、「市民委員」が募集され、公開の会議に参加して意見を述べ、議論をするものでした。その参加者の中からも新人議員が誕生しているのが特徴でした。今回の視察の際にも、その方も説明員の一人になっておられました。町田市議会でも、あって欲しいタイプの議員が誕生していました。

ゴミは3Rから4Rへ

17回目の町田市・相模原市議員交流会が開かれました。今回の開催場所は相模原市側でその視察先も相模原市内の施設を案内していただきました。なお、議長・副議長の交代があり、沼倉孝太議長と米山定克副議長が誕生されています。

その視察先の一つとして、「麻溝台リサイクルスクエア」を訪ねました。町田市などの多くの自治体では、ごみの減量のために、通常「3R」(リデュース:むだなごみの量をできるだけ少なくすること、リユース:一度使ったものをゴミにしないで繰り返し使うこと、リサイクル:ごみを別のものに再資源化すること)を提唱し、実施しています。

この相模原市では、その「3R」に加えて、リフューズ(ゴミになるものを買わない)も提唱しているのが特徴でした。この考えは、以前からあるものですが、行政が消費者に向けて、買い物の制限を呼び掛けているようで、物の販売業の方々には少々響きに抵抗があるのではないのでしょうか。



当日の視察コースの一コマ

無所属で活動・市議会は保守連合 **市議会議長として、休まず執務中**

HP <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



QRコードで
メール送信が
できます

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

市議会議長として、連日活動中



インターン生を募集中



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート⑦ 宇都木 彩名

東京都国民健康保険団体連合会を視察しました。東京都国民健康保険団体連合会は東京都の保険者が共同して目的を達成するために東京都知事の認可を受け、設立された公法人団体です。当団体では、町田市長である石阪市長が理事として就任しています。また、この日は専務理事の加島保路様を始め、大勢の方々から以下の説明をしていただきました。



事業内容は、診療報酬等の審査支払事業や介護保険事業、年金からの保険料の特別徴収等に係る経由期間業務などで、福祉分野において幅広い事業に従事していることを知りました。特に、保険医療機関等から提出される診療報酬明細書が、適切か否かを審査する医療保険事業は、私達の日常生活にも関わっており、身近なところで当団体に支えられて生活しているのだと学びました。

また職場見学も行いました。多くの部屋はコンピュータが設置されており、情報をデータ化して扱っていました。しかし、接骨や整骨関係の情報を取り扱っている部屋において

は、資料は紙で作られ管理されていました。そのため、他の部屋と比べ壁が高く、資料の取り扱い方に準じて工夫がされているのだと感じました。



町田市外でのインターン活動はあまりないため、本日のような体験は私にとって貴重ものとなりました。また保険事業のお話は、理解することが難しい箇所もいくつかあり、自分の知識の無さを痛感しました。インターン活動を通して、自分に必要な知識をこれから増やしていきたいです。

津田塾大1年 宇都木彩名(第39期生)作成

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)